

日本遺産から世界遺産への挑戦

-外国人有識者の提言-

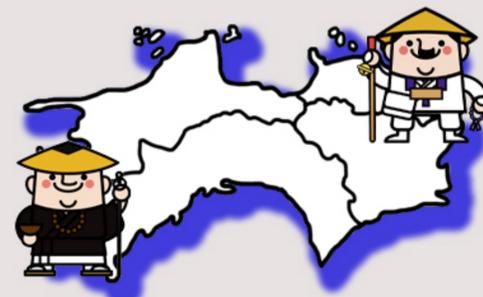
-開催趣旨-

2013年秋に和食がユネスコ無形文化遺産として登録されました。

更に、ニューヨーク・タイムズ紙の「2015年に行くべき世界の52箇所」として、日本で唯一「四国遍路」が選ばれました。そして、今年4月「四国遍路」が「日本遺産」に認定され、四国が国内外で注目を浴びつつあります。

こうしたことから四国夢中人では、今年2月に3人のフランス人による

「四国遍路講演」をパリで開催したのに続き、7月に香川県高松市で外国人有識者による四国遍路シンポジウムを開催いたします。つきましては、私たちがとかく見落とししがちな「遍路文化が世界遺産に選ばれる条件」について彼等に率直な意見を出して頂き「四国」のブランド力向上を目指します。



パネリスト紹介



Muriel Jolivet(ミュリエル・ジョリヴェ)氏
フランス出身
上智大学外国語学部フランス語学科 教授

略歴：1995年 上智大学教授就任
2003年 フランス政府から国家功労勲章シュヴァリエ受章
2007年 四国八十八ヶ所結願
研究テーマ：文化人類学・民俗学・社会学 社会心理学
著書：子供不足に悩む国、ニッポン」「フランス新・男と女」他44冊



David Moreton(ディヴィッド・モートン)氏
カナダ出身
徳島文理大学 講師

略歴：2001年 ブリティッシュ・コロンビア大学大学院
修士論文「四国八十八ヶ所巡りにおけるお接待の歴史」
2013年 帰化(日本名：モートン常慈)
研究テーマ：四国八十八ヶ所巡りに関する歴史文化研究
著書：英語版遍路ガイドブック、歴史書など多数



金昴先(キム・ミョウソン)氏
韓国出身
四国霊場13番札所・大日寺 住職

略歴：1995年 韓国伝統公演芸術競演大会総合大賞 大統領賞受賞(韓国)
1996年 大日寺住職弘業師と結婚徳島へ
2008年 UCL Aカリフォルニア大学ロサンゼルス校客員教授就任
2011年 大韓民国文化勲章花冠叙勲

司会



梶川伸氏
四国八十八ヶ所霊場会公認先達
「四国八十八ヶ所へんろ小屋プロジェクト」を支援する会
副会長
大阪経済法科大学客員教授(元毎日新聞論説委員)

主催：四国夢中人 共催：NPO法人遍路とおもてなしのネットワーク
後援：観光庁/四国経済連合会/(一社)香川経済同友会/香川EU協会
四国遍路八十八ヶ所霊場会/総本山善通寺/
「四国八十八箇所霊場と遍路道」世界遺産登録推進協議会/朝日新聞高松総局
毎日新聞社高松支局/読売新聞高松総局/NHK高松放送局/四国新聞社
協力：共同ビデオ制作(株)/檜笠幸三氏(書道家)/(株)武揚堂

開催概要

日時：7月25日土曜日

15:30～17:30 シンポジウム

18:00～ 懇親会

入場料：無料(定員100人)

パネリスト：在日外国人3人(日本語対応)

場所：香川県高松市サンポート2番1号
高松シンボルタワータワー棟4・5階
情報通信交流館BBスクエア

TEL：087-822-0111

申し込み先URL：<http://muchujin.jp/>



このシンポジウムはインターネット動画サイト

U-STREAMで中継します！ <http://muchujin.jp/>

